

## 病院・入所施設関連環境整備 Q&A

### 《Question》

病院(施設)に入院(入所)している新型コロナウイルス感染症の患者および無症状病原体保有者の退院(退所)に関する基準があれば教えて下さい。

### 《Answer》

厚生労働省から、原則として「発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快後72時間経過した場合」と示されています。また「発症日から10日間経過以前に症状軽快した場合に、症状軽快後24時間経過した後に核酸増幅法又は抗原定量検査を行い、陰性が確認され、その検査の検体を採取した24時間以後に再度検体採取を行い、陰性が確認された場合」も差し支えないこととされています。

### 《参考になるサイト》

厚生労働省HP「高齢者施設における新型コロナウイルス感染症発生に備えた対応等について[令和2年6月30日]」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000645119.pdf> p.15-16

### 《Question》

病院(施設)においてクラスターが発生しました。クラスター発生時の初動対応体制と職員が不足することによる人材確保体制についての支援にはどのようなものがありますか。

### 《Answer》

厚生労働省から「感染症発生時における職員の派遣に関する事務取扱要綱」が示され、配置換え等でも対応できない場合は、所定の書類を整え県に職員の派遣を依頼することができます。

### 《参考になるサイト》

厚生労働省HP「高齢者施設における新型コロナウイルス感染症発生に備えた対応等について[令和2年6月30日]」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000645119.pdf> p.8-13

### 《Question》

退院前訪問指導について、主治医判断で実施許可にする緩和策を検討しています。どのような条件が必要ですか？

### 《Answer》

当院での検討条件は、①当院職員以外に適任者が不在であること ②訪問地域が警戒レベル1以下であること ③電話確認による事前の体調チェックをすること(ご家族、訪問時同席者:ケアマネ、業者含む) ④訪問時間短縮など時間の調整を行うこと ⑤手指消毒剤の持参など感染予防対策を行うこと となっています。

### 《参考になるサイト》

圏域ごとの新規発生状況:各都道府県のHPに掲載有

## 通所施設関連環境整備 Q&A

### 《Question》

新型コロナウイルスが蔓延して以降、ウォーキングなどの屋外活動が減り運動不足になっている利用者の方が多くいらっしゃいます。利用者が自宅で簡単に行えるお勧めの運動があれば教えてください。

### 《Answer》

外出の自粛により、運動不足や体重の増加、ストレス等が問題になっています。特に、中高年齢者については、フレイルやロコモティブシンドローム、認知症等の発症リスクも高まるため、意識的に運動・スポーツに取り組んでもらうことは、健康の保持や将来的な要介護状態の回避にも有効です。3密を避けた屋外でのウォーキング、自宅で行える筋トレ(スクワット、踵上げ等)やストレッチといった運動へのアドバイスの他、生活活動(家事や買い物、ペットの散歩等)への働きかけを行い、身体活動量を増やす取り組みが重要となります。以下のサイトも参考にしてください。

### 《参考になるサイト》

スポーツ庁HP 新型コロナウイルス感染対策 スポーツ・運動の留意点と、運動事例について  
[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop05/jsa\\_00010.html](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/jsa_00010.html)

リガラボHP 新型コロナ対策:生活不活発病予防のすすめ  
<https://rigakulab.jp/2020/03/11/id000040/>

### 《Question》

通所施設系サービス利用時の物理療法や個別の理学療法実施時の対応として、感染予防のためにはどのような注意が必要でしょうか？

### 《Answer》

利用者の廃用症候群防止や ADL 維持等の観点から、一定のリハビリテーション又は機能訓練や活動を行うことは重要である一方、感染拡大防止の観点から、基本的事項である「3つの密」を避けて実施することが重要です。密を避けるために間隔をとった状況で実施する、機器の使いまわしはしない、やむを得ず必要な場合は一回一回消毒をする等を徹底します。

### 《参考になるサイト》

公益社団法人 全国老人保健施設協会 通所・短期入所等のサービスにおける感染防止に向けた対応について  
<http://www.roken.or.jp/archives/20874>

## 訪問関連環境整備 Q&A

### 《Question》

新型コロナウイルス感染症の影響により訪問サービス利用者は、益々他者との交流機会が減少しています。転倒や鬱進行予防としてどのようなことを提案していくと良いでしょうか。

### 《Answer》

厚生労働省より、転倒予防を目的とした運動方法は以下のように記載されています。

- ・人混みを避けて、一人や限られた人数で散歩する。
- ・家の中や庭などでできる運動（ラジオ体操、自治体のオリジナル体操、スクワットなど）を行う。
- ・家事（庭いじりや片付け、立位を保持した調理など）や農作業などで身体を動かす。
- ・座っている時間を減らし、足踏みをするなど身体を動かす

また、鬱または孤独予防を図る方法として以下のように提言されています。

- ・家族や友人と電話で話す。
- ・家族や友人と手紙やメール、SNSなどを活用し交流する。
- ・買い物や移動など困ったときに助けを呼べる相手を考えておく。

### 《参考になるサイト》

厚生労働省HP 新型コロナウイルス感染症への対応について（高齢者の皆さまへ）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/kaigo\\_koureisha/yobou/index\\_00013.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/yobou/index_00013.html)

厚生労働省HP 地域がいいきき 集まろう!通いの場

<https://kayoinoba.mhlw.go.jp/>

一般社団法人 日本在宅医療連合会HP 在宅医療における新型コロナウイルス感染症対応Q&A（改定第2版）Ver2.1

[https://www.jahcm.org/assets/images/pdf/20200629\\_covid19\\_01\\_v2.1.pdf](https://www.jahcm.org/assets/images/pdf/20200629_covid19_01_v2.1.pdf)

### 《Question》

独居をしている在宅サービス利用者が、新型コロナウイルス感染症の心配があるためデイサービスの利用を休止したところ、急激に活動量が低下し、体重減少、歩行能力やADLも低下をしてしまいました。訪問リハビリテーションによる介入を開始する際に気を付けることはありますか。

### 《Answer》

サルコペニアを発症している可能性もあるので、BMI、デイサービス利用時の体重、血液データの確認を行います。さらに食事摂取の状況も確認します。それらの状況からサルコペニアの疑いがあれば、管理栄養士や看護師による栄養指導、医師による栄養素やエネルギーを補給する経腸栄養剤等の処方等適切な対応が必要です。また肥満のように見えても、サルコペニアの状態である方もいるので注意が必要です。栄養状態を含む全身状態を確認しながら、療法士による運動介入をしていくことが重要です。

### 《参考になるサイト》

理学療法学 サルコペニア研究と臨床への応用

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/rigaku/45/5/45\\_45-5kikaku\\_Goto\\_Ayumi/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/rigaku/45/5/45_45-5kikaku_Goto_Ayumi/_pdf/-char/ja)

日本サルコペニア・フレイル学会 サルコペニア診療ガイドライン

[https://minds.jcqh.or.jp/docs/gl\\_pdf/G0001021/4/sarcopenia2017.pdf](https://minds.jcqh.or.jp/docs/gl_pdf/G0001021/4/sarcopenia2017.pdf)